

ステップアップ!!

〈大学入試編〉



今回はAO(アドミッション・オフィス)入試について取り上げます。AO入試とは、大学が求める人物像(アドミッション・ポリシー)に合致した学生かどうかを基準に、書類や面接などで可否を判定する入試です。したがって、原則として志望動機や意欲、将来性を中心に評価されます。

「公募制推薦」と違い、原則として高校の学校長の推薦は必要ありません。出願条件を満たせば、誰でも自由に応募ができます。

また、出願時期が8月1日以降と早めに設定されており、面接や小論文を重視

選考の過程は、表をみてください。国公立大学の中には、センター試験を課す大学も多くあります。例えば、横浜国立大学の教育人間科学部のAO入試では、出願時、調査書、自己推薦

A. 志望動機など中心に評価

Q. AO入試の特徴は?

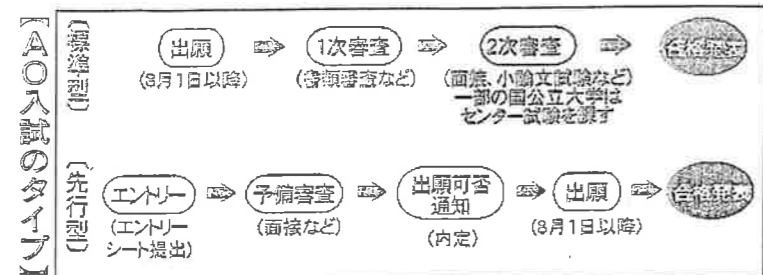
今週のポイント

- ・ AO入試は「公募制推薦」と違い、高校の学校長の推薦は必要なし
- ・ 大学で何を学びたいかをアピールする材料を集めておくことが重要
- ・ AO入試の出願以前に「エントリー」を受け付ける大学もある

書(AO入試を希望する理由、学校教員になることへの熱意や適性)、課題レポート(小学校または中学校の教科の中から、学校教員になって教えたいこと)を提出。第1次選抜では、提出書類の評価とあわせて、小論文が課されます。

第2次選抜では、複数の面接員による集団面接が行われ、課題レポートの内容を説明、それを踏まえて、教育の今日的な課題などの質問を、学校教員としての資質と能力を総合的に評価されます。

そして、最後にセンター試験が行われます。センター試験合計



また、学校によっては、AO入試の出願以前に「エントリー」を受け付ける大学もあります。この「エントリー」の段階で予備審査として面接などを行い、出願可否通知(内定)を出す大学もあり、内定を得られた人だけ「出願」ができるというケースもあります。

AO入試を受験する際には、自分が受験したい大学がどのような形でAO入試を実施しているかを確認し、計画を立てて、対策を行いましょ。

CC高等館東進衛星予備校